楠の葉

佐賀大学同窓会報　第30号

発行日 2019年1月1日
発　行 佐賀大学同窓会

佐賀市本庄町1　佐賀大学　菱の実会館内
TEL 0952-23-1253
FAX 0952-25-5700
E-mail dousoukai@sadai.jp
ホームページ http://sadai.jp/alumni/

編集代表者 徳　安　和　博

次代へと脈々と続く同窓会組織の継承

佐賀大学同窓会会長　川　副　　　操　（農学・S44年卒）

会員の皆様方には、ご清栄のこととお慶び申し上げます。

かねてより「佐賀大学同窓会」の運営につきまして、ご指導・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

平成30年は、「明治維新150周年」の節目ということで、佐賀県では、藩校「弘道館」で学んだ志士たちの活動がクローズアップされた年でした。世界を見据えた佐賀藩主「鍋島直正公」の方針の下、新しい時代を切り開いた若き偉人たちを顕彰するイベントが各所で催されています。（平成31年１月14日まで）その中で、藩校の指導者は、身分の上下に関係なく藩士や町人の子弟に教育の必要性・重要性を説き、「先輩が後輩生徒を指導する」教育体制を確立しました。そして、若き志士たちに「夢と希望と情熱」を抱かせ、グローバルな視点を持たせ向学心を促しました。こうした教育体制を、先輩から後輩へと同窓会の世代間融和策の指針として、同窓会を盛り上げていければと強く感じました。

全学同窓会長を仰せつかって間もなく１年になります。これまでに、数か所の県外支部総会へ参加しました。「くまモンの里」熊本県支部では、会員による現況発表の後、災害復興へ向けての熱い宣言が行われました。「筑後支部」では、市民公開講演会の開催や先輩の巻頭言披露がありました。「沖縄支部」では、内地留学当時の思い出話で盛り上がり、「かりゆしの里」での寮歌祭への参加宣言が行われました。「大分不知火会」では、勝ち抜きジャンケン大会や会員所有農園での花見会が開催されました。「諫早支部」では、会員による諫早干拓関連研究報告に続き、支部振興へ向けた決意披露がありました。「佐世保ムツゴロウ会」では、会員による悲惨な戦争体験発表や詩吟・仕舞が披露されました。「関東支部」では、久し振りの旧友との再会に話が弾み、支部長の巻頭言披露の後、最後に寮歌等が斉唱されました。

それぞれの支部で、会員による研究発表・報告・講演の後に、総会・懇親会へ移行するといった趣向を凝らした活動が行われていました。こうした先輩方が形作られた同窓会活動やイベントをどう継承していくのか、若手の参加・育成をどう促していくのかが同窓会活動の活性化につながると思います。でも、これが昨今、各支部・各地区・地域ともなかなか難しい状況にあります。

こうした活動の継続性を高めるためには、新旧世代の融合による組織の活性化が急務と考えます。そういった意味で、「明治の改革」に倣った教育体制の確保ができないか、会員皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、会報「楠の葉」は、年２回発行し会員に送付してきましたが、経費削減のため会報の送付は、年１回のみになります。そのため、今回の「会報第30号」から同窓会ホームページに掲載し、会員への送付は行いません。会員への送付は、隔号毎になります。ホームページからの閲覧をよろしくお願いします。ご意見等あれば、事務局までお寄せください。

支部だより

沖縄支部懇親会 OKINAWA

平成30年６月30日㈯那覇市内の「ホテルサン沖縄」において「沖縄支部懇親会」を開催しました。当日は支部会員14名に加え、本部から川副佐賀大学同窓会会長はじめ、江口楠葉同窓会会長、穂屋下理工学部同窓会会長、島理工学部同窓会副会長、平尾理工学部同窓会副会長に来賓としてご参加を頂きました。

会はまず支部長より、支部の現状、沖縄の大学院留学の樋口淳一氏、沖縄勤務の川勝孝幸氏両名の初参加者紹介、次回の「沖縄寮歌祭」への参加予定などが報告されました。

引き続き、支部中村義光氏の乾杯、川副会長の来賓挨拶、各学部同窓会の近況報告や自己紹介、支部会員の自己紹介を兼ねた近況報告があり、なかでも、理工学部や農学部で改組され、来年から各学部一学科体制でスタートするとの報告にはびっくりしました。母校が時代とともに学生のメリットや、社会のニーズに応えるべく進化を続けている事を実感しました。

又、夏の沖縄の定番スタイル「かりゆしウエア」の色彩やデザインが沖縄仕様で県外ではなかなか普及しないので、美術教育の伝統ある母校で「佐賀版〇〇ウエア」をデザイン提案し地域の活性化に役立てないか？…など楽しい話題でおおいに盛り上がりました。

最後は島副会長による振付指導で「学生歌」、「巻頭言」、「南に遠く」を熱唱・乱舞し一同大いに元気づきました。

今回、来賓の方々には台風7号最接近で航空便の繰り上げ、延泊など大変ご迷惑をお掛け致しました。ありがとうございました。

沖縄支部　支部長　平良　克次（経済・S46年卒）

大分県支部総会・懇親会 OITA

平成30年11月３日㈯、大分市内の「大分アリストンホテル」において、大分県支部「豊後はがくれ会」の総会・懇親会を開催いたしました。

同窓会本部から川副操同窓会長をはじめとする４名の来賓にお越しいただき、支部会員26名（うち女性５名）が参加して盛会に行うことができました。

清末支部長のあいさつに続き、来賓を代表して川副同窓会長にあいさつをいただいた後に総会を開催。総会の経過報告では、例年のゴルフコンペの他、昨年12月の日田市有志の会、２月の中津での花見会、10月の田代先生（元佐大副学長）を囲む会など、例年になくもりだくさんの行事が報告されました。

併せて次年度の行事計画を承認。来年も中津での花見会を３月に行うこととなりました。懸案の開催時期見直しについては、アンケートを行ったものの結論は出ず、当面、本部や他地区の日程等を勘案しながら日程調整することとなりました。

懇親会は来賓の各学部同窓会役員の方々にあいさつをいただいた後、文理OB谷本先輩の乾杯で開宴。余興として第５回「勝ち抜きじゃんけん大会」を今年も開催しました。昨年初優勝の高田先輩の奥様が連覇できるかが注目されましたが惜しくも準優勝。第２回大会の覇者経済学部OBの安部さんが２度目の優勝をかざりました。初めて参加された本部役員の方々にも思いの外好評だったようです。

もう一つの恒例行事、巻頭言「南に遠く」は乾杯の発声に続いて谷本先輩が元気に音頭をとられました。今年も５人の先輩から元気に踊りを披露していただきました。

学生時代の昔話や近況報告、仕事や趣味の話など楽しい会話に酒もすすみ、あっという間に時間は過ぎて終宴の時間。最後は祇綿さんの発声で来年の再会を約束して散会しました。

事務局　佐藤　吉昭（農学・H元年卒）

筑後支部総会・懇親会

平成30年10月13日㈯柳川市において、標記同窓会が開催されました。本部から同窓会々長川副操氏、副会長宮尾正隆氏、副会長江口洋一氏、副理事長水田和彦氏、理事池上康之氏、有明会副会長山口久美子氏がご臨席くださいました。会に先立ち講演会の部で、地元柳川市出身で海洋エネルギー研究センター教授の池上康之氏による「佐賀大学が育んでくれた海洋温度差発電に学ぶ」のテーマで、海洋温度差発電の原理を分かりやすく講演されました。海洋温度差発電は、海洋の表層水と深海水の温度差を利用し、沸点が著しく低いアンモニアを媒体に使い表層水で沸騰した蒸気圧でタービンを回転し発電します。一方低温の深海水で液体に戻します。会場からは多数の質問もあり、盛り上がりました。その後、総会の部では本部来賓の方々の自己紹介に引き続き昨年秋の叙勲で「瑞寶小綬章」を天皇陛下から受章された筑後支部役員でもある秋原泰男氏の披露と同氏のお礼の言葉がありました。本人は無論、筑後支部としても誠に名誉なことであります。

その後懇親会に移りました。

福田和夫氏（文理・S29年卒）の「巻頭言」に続き「南に遠く」を全員が会場狭しと唄い踊り旧友を深めました。

最後に水田和彦副理事長の音頭で学生歌「楠の葉の」を大合唱し閉幕となりました。

本部はじめ、ご出席いただいた皆様、有難うございました。

筑後支部　会長　大村　　直（農学・S40年卒）

綬章当時のお写真　奥様と

瑞寶小授章

長崎支部総会・懇親会

今年は、総会及び懇親会を11月９日㈮18時30分から、ガーデンテラス長崎で開催し、各同窓会から副会長の方々にもご臨席いただきました。

参加者は、31名（うち女性３名）と前年よりやや少なかったですが、一方で、初めて参加された方もおられ、来年はより多くの参加者を集めようと誓ったところです。

今年は、会計報告のあと、平成27年の長崎支部再起動時から３年間ご尽力いただいた三藤義文前会長（理工・S49年卒）、早嶋保廣前副会長（農学・S43年卒）の退任に伴う役員改選を行い、新会長に髙比良則安氏（経済・S54年卒）、副会長に堤二三男氏（経済・S54年卒）を満場一致で選出しました。

その後、来賓の佐賀大学同窓会本部事務局長の平野禎亮様のご祝辞を賜り、早嶋保廣様の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。

懇親会では、恒例となりました出席者全員による自己紹介があり、在学中の思い出などを楽しく話していただき、最後は、新会長の音頭による「巻頭言」を全員で唱和し、盛況のうちに、若手代表の堀内早紀様（文化教育・H25年卒）の万歳三唱で総会が終了しました。

今後とも、長崎支部に対しまして、益々のご支援・ご協力をよろしくお願いします。

支部長　髙比良　則安（経済・S54年卒）

諫早支部総会・懇親会

平成30年11月９日㈮午後６時30分より諫早市内「L&Lホテルセンリュウ」に於いて本部から川副操同窓会本部会長、江口洋一楠葉同窓会会長、中島道夫理工学部同窓会副会長各位のご出席を賜わり支部会員13名の出席にて開催致しました。先づは全員での記念撮影をし荒木謙蔵事務局長（農学・S50卒）の司会進行にて宮下武美支部長の挨拶、続いて来賓代表で本部の川副会長にご挨拶を頂きました。その後、当支部役員桃下大氏（農学・S44卒）による講演。「ユスリカの生態」についての研究を本人作成の写真をプロジェクターを使用して映し出し説明がなされました。諫早湾干拓締切により堤防道路にユスリカの大量発生を年代別・季節別にとらえ環境変化による影響を学術的に解説されました。又、ユスリカ発生による食物連鎖でトンボ、アシナガクモ、ツバメ等も大発生しその写真等が紹介されました。桃下氏は全国的にもこの分野（昆虫学）で活躍されています。その後、長濱孝基当支部顧問（教育・S38卒）による乾杯で懇親会へと移りました。その際中、ご来賓の江口楠葉会会長、中島理工学部副会長から最近の大学の近況についての報告がありました。又出席者全員、各々から各自の状況を発表し大いに盛り上がりました。最後に当支部泉省吾副会長（農学・S39卒）による万歳三唱で終了致しました。

支部長　宮下　武美（文理・S41年卒）

講演に加え吟詠・舞踊・寮歌で盛会（佐世保支部）

第20回を迎えた佐世保支部「むつごろう会」の定例会は、平成30年11月10日㈯佐世保駅前の「レオプラザホテル」で開催しました。当日の参加者は来賓５名を含め計28名でした。例会には本部から川副操会長ほか、各学部から４名の副会長・理事にご参加頂きました。総会では「むつごろう会」の臼井会長から近況報告、今後の同窓会の課題、各同窓会との連絡、協力の必要性など支援要請がありました。またご来賓を代表して川副会長からは大学の近況、在校生に対する同窓会の支援活動などについて説明があり、その後講演会に入りました。

講演会は「むつごろう会」のいわば目玉であり、今年は「祖父が遺した戦争」と題し佐世保空襲の惨状を米軍カメラマンが写した写真を題材にしたDVD映写を中心とした90分でした。これは会長がNHK鹿児島の取材に対応、平成29年７月全国放映番組の録画に基づいた講演でした。続いて懇親会に入り、会長が挨拶に続き、松口月城作詩の漢詩「観光　佐世保」を朗々と吟じました。懇親会では各来賓から各学部同窓会の近況説明、続いて参会者の自己紹介、近況報告があり、和気あいあいに過ごしました。今年もひときわ華やかだったのは、美しい和服姿の寺崎ヒサ子さん（教育・S34卒）の素晴らしい舞踊「祝い節」のご披露でありました。寺崎さんは元相浦小学校の校長のご経歴。「人生を明るく　皆が幸せに暮らせますように」という願いを込めてがこの踊りのネライだそうです。後、山田事務局長が「巻頭言」に続いて「南に遠く」をベースに舞台を乱舞、懇親会を盛り上げました。

最後に森達郎副会長（教育・S35卒）が、会員の今後の健康、会の発展そして二年後の再会を期して万歳三唱を行い盛会裏に幕を閉じました。

副会長　森　　達郎（教育・S35年卒）

関西支部総会・懇親会

前回（H29年２月）開催時に取決めた毎年開催には少し時間が経過したが、１年９ケ月振りにH30年11月10日㈯に大阪梅田・『神仙閣』にて開催した。

今回も同窓会本部より多大のご協力を得て約400名の同窓生に案内状を送付し、41名の方々に出席して戴いた（１名欠席）。出席者には陶山前支部長（文理・S28年卒），阿野大先輩（農学・S30年卒）から小宮君（理工・H29年卒）までの幅広い年代の同窓生の集まりとなった。特に小宮君の参加には感激した。

本部から来賓として、穂屋下蔆実会長、宮尾有朋会長、小池農学部同窓会長及び平野同窓会事務局長の皆様方にご出席を戴いた。

先ず初めに全員で記念写真撮影し、司会者猿渡様（教育・S47年卒）の挨拶で総会が始まった。支部長挨拶に

続き、前回の会計監査報告を赤水様(経済・S58年卒)より説明。次にご来賓を代表して穂屋下菱実会長よりご挨拶を戴いた。

佐賀大学の現状報告及び同窓会活動の説明をして戴き、同窓生一同、母校の益々の発展と同窓生として母校への貢献意義を強く感じた。続いて陶山様の乾杯のご発声にて懇親会が始まった。歓談の後、ご来賓の同窓会会長の皆様及び事務局長には各同窓会の近況等についてご説明及びご報告を戴いた。

それから各テーブル毎に自己紹介及び近況報告を全員に述べて戴いた。

会が盛り上がってきた所で、DVD鑑賞(大学全景の空撮、学内の風景等)、その後伊澤様(理工・S48年卒)の「巻頭言」「南に遠く」に始まり、学生歌「楠の葉の」を全員で合唱し、万歳三唱にて閉会した。今回は一部の方のみであったが、佐賀県の名物『小城羊羹』『マルボーロ』等をお土産として持ち帰って戴いた。

今回も初参加の方や関東方面から駆けつけて戴いた方もあった。次回も参加して戴ける様な関西支部総会・懇親会を続けて行きたいと考えている。

支部長　田中　誠(理工・S47年卒)

東京支部総会・懇親会

TOKYO

平成30年11月11日㈰正午から新橋「新橋亭」において、東京支部の総会及び懇親会が開催されました。当日は天候にも恵まれ、まさに"同窓会"日和でした。

総会は支部長の挨拶で始まり、遠路佐賀からご参加頂いた同窓会川副会長外5名の来賓の紹介があり、宮尾副会長から大学、各地同窓会の現状と今後の課題についてお話を頂きました。

続いて、支部長交代の報告があり和田支部長（文理・40年卒）から岩村支部長（経済・S58年卒）へバトンが引き継がれました。

懇親会は武部侑子（教育・S33年卒）さんの乾杯でスタート、終始なごやかな雰囲気の中で推移し、あっという間の２時間半でした。

途中の福引では佐賀の"ようかん"・"お茶"・"海苔"の詰め合わせが当選者に手渡され嬉しそうな"笑顔"・"一言"が印象的でした。

閉会に近づき本部同窓会島副理事長の指揮のもと全員で学生歌「楠の葉の」を大合唱、最後は寮歌で「南に遠く」と同窓会法被を着用し歌い踊りフィナーレとなりました。

締めは前田恭平（文理・S33年卒）さんの２年後の東京オリンピックの年に元気で会おう！の力強い言葉で散会しました。

支部長　和田　紘一（文理・S40年卒）

佐賀市役所支部総会・懇親会

SAGASIYAKUSYO

平成30年７月27日㈮18時15分から、「ホテルマリターレ創世」において、佐賀市役所支部総会・懇親会が開催され31名の会員の参加がありました。

佐賀大学からは宮崎学長をはじめ４名、同窓会本部からは川副同窓会会長、宮尾友朋会会長、江口楠葉同窓会会長、水田農学部同窓会副会長、穂屋下理工学部同窓会会長、西村医学部同窓会会長の６名が来賓として出席されました。

佐賀市役所支部は再スタートをして６年目を迎えましたが、参加者が少ないことも有り、「今後、会員や参加者増を図りたい。佐賀大学とは連携を図っていきたい。」などの話があったところです。

懇親会では、藤田支部長のあいさつ、宮崎学長、川副同窓会会長の来賓あいさつの後、懇談に入り、会員同士、会員と大学、同窓会メンバーとの意見交換などで会話が弾んでいました。

理事　西川　末実（経済・S53年卒）

佐賀県内地区会

神埼地区会だより

神埼地区会は４回目開催を平成30年９月29日㈯に割烹「菊水」において午後５時より、佐賀大学同窓会副会長宮尾様、有朋会副会長山田様、楠葉同窓会副会長西川様、医学部同窓会副会長佐藤様、理工学部同窓会副会長島様、農学部同窓会副会長水田様、佐賀大学同窓会事務局長平野様をご来賓としてお迎えして開催しました。今年も神埼会規約により、会員の親睦と交流をメインにした内容を心がけました。前半を総会とし、会員の知的好奇心を刺激して、また会員の中から自発的に神埼会を大事にしたいという雰囲気が出てくるように学部を横断的に巡回していくようにした特別講話を実施しました。今年は卒業生２名による近況報告として、前半を田中欽二様に、後半を古川裕紀様にお願いしました。それぞれ15分程度として、田中様には「現在の活動の様子や自分が見た農業を取り巻く世界について」、又古川様には「かつて在籍した会社での実績を上げた分野について」をご講話いただきました。パソコン・プロジェクターを使った写真や映像を駆使した話術にそれぞれ魅了され、有意義な時間を過ごさせていただきました。また、総会のメインとなる協議・報告では①規約の改正②役員の交替について会長ほか役員の再任並びに交替と規約の一部改正について承認していただきました。その後、恒例により総会終了後に記念撮影を行いました。この後、交流会に移り、花田副会長の開会挨拶に始まり、水田、佐藤、西川副会長よりご祝辞をいただきました。またその後、参加者を代表して山田直行様に「乾杯のごあいさつ」を頂き、神埼会の会員２名が「尺八」「三線」をご披露して交流会が開宴しました。限られた時間の中で卒業年次・学部の違う老若男女が集い、親睦を深めていくという神埼会の伝統が少しずつ生まれてきたような雰囲気を感じました。最後には、参加者に歌詞を配布し、伝統を感じる「巻頭言」並びに「佐賀大学学生歌：「楠の葉の」の歌詞を全員で合唱して盛り上がったところで、閉会のご挨拶を廣瀧様にしていただいて、無事、平成30年度佐賀大学同窓会神埼地区会を閉会しました。

会長　古賀　季夫（経済・Ｓ50年卒）

伊万里地区第４回総会・交流会

平成30年11月23日㈮午後２時から、伊万里公民館研修室において、佐賀大学同窓会伊万里地区会の第４回総会及び交流会を開催しました。

当日は、同窓会本部から小池良美副会長をはじめ、５名のご来賓、当地区会員23名の参加がありました。

総会においては、小杉地区会会長のあいさつに続き、小池同窓会副会長よりごあいさつをいただいた後、会員発表として、佐賀県立有田工業高等学校、熊谷正実教諭に「私の人生」と題し、これまでのご自身の人生を振り返りお話をいただきました。

交流会においては、いまりハーモニカクラブ清香会（せいこうかい）の岩永憲一良氏、松本昌倫氏、円田滋氏、石本洋子氏の演奏による「里の秋」、「青い山脈」の演奏に続き、参加者全員で「ふるさと」の合唱を行い、参加者の心を一つにして歓談に入ったことから、学部や世代の垣根を越えた交流を深めることができ、また、途中のお楽しみ抽選会などにより、大いに盛り上がり終了したところです。

ご出席いただいた皆様、本当にありがとうございました。

伊万里地区会 事務局　佐々木　慎二（経済・Ｈ８年卒）

同窓会NOW　有朋会（教育学部同窓会）

最近の活動について

芸術地域デザイン学部　米村　太一（教育・H20年卒）

佐賀大学を卒業してから８年が経ちました。文化教育学部美術・工芸課程の学生として在籍していた当時、朝から晩まで、先輩や後輩と一緒に作品づくりに明け暮れた日々がとても懐かしく、「自分が学生だった頃は…」と大学生に思い出話をしてしまう程度に、私も歳をとりました…。

現在は、平成28年に新設された、芸術地域デザイン学部で特任助教として勤務し、油彩表現を中心に研究しています。新学部は、多様なアイディアや技術を持った学生が増えたことで、様々なことに挑戦できるようになりました。

先日開催された「さが維新まつり」では、芸術地域デザイン学部の学生が、照明とプロジェクションマッピングを織り交ぜた空間演出を担当し、幻想的なステージを作り上げげました。以前よりも、幅広い角度から美術を学べるようになった学生達を見ていると、羨ましく感じます。私も、久留米市の石橋文化センターでインスタレーション作品を制作するプロジェクトに関わったり、「さが維新まつり」に関連した、ランタン作りのワークショップを運営したり、佐賀市内のコミュニティースペースで版画のワークショップを開催するなど、学生達と一緒に新しいことを学ぶつもりで楽しんでいます。

美術・工芸課程は、今の４年生が最後の学年になるため、寂しい気持ちもありますが、芸術地域デザイン学部の活躍も、ぜひ楽しみにしていてください。

学生による「さが維新まつり」空間演出

同窓会NOW　楠葉同窓会（文理・経済）

私と佐賀大学

経済学部副事務長　江口　達也（経済・S60年卒）

私は昭和56年入学、学籍番号81E124の江口達也です。

私の学生時代の想い出は、陸上部で走ってはゲロ通りで飲むことくらいで、今の学生のようにSNSもなくのんびりとしたものでした。当時流行った「ふぞろいの林檎たち」や「めぞん一刻」の世界そのままです。

大学卒業後、民間企業を経て国家Ⅱ種試験に合格し、縁あって国立佐賀大学に就職しました。

そして現在、早いもので佐賀大学勤務も30年を過ぎ、残り数年となりました。

これまで、人事院九州事務局や佐賀医科大学に出向したり、人事課や学生生活課を中心に勤務し、現在はまたまた縁あって経済学部で副事務長として働いています。

大学職員としての手柄はありませんが、胸を張れることが二つあります。

一つは卒業後も陸上を続け、陸上部の監督をする傍ら市民ランナーとして走り続けていることです。

フルマラソンは30回以上、福岡国際マラソン、東京マラソン、ホノルルマラソンなど「佐賀大学」のユニフォームで広報活動をしています。佐賀県内では「佐賀大学のランナーの江口」として名前を売って？います。

二つ目は結成７年目のYOSAKOIサークル「佐賀大学嵐舞」と創設したことです。

７年前、走りも好きだが踊りも好きが高じて部員募集を始めたものの、スタート時部員は１名。苦し紛れに陸上部員や留学生を引き込みグダグダの踊りで常に廃部の危機に直面。何とか大学職員の権限をフルに活用して部員を増やし、今では県内はもとより全国のお祭りに出演するほどのチームに成長しました。おかげで私が出る（踊る）幕はなくなり、すっかり追っかけ専門になりました。

もし、みなさんの近くのお祭りに佐賀大学嵐舞が来たらぜひ応援してください。きっと元気をもらえるはずです！

このように、公私ともに佐賀大学を盛り上げて、現役学生やOBが誇れる母校にしていくことが私の仕事だと思っています。

同窓会NOW ―― 佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会

寛容で豊かな研究

医学部病因病態科学講座・臨床病態病理学分野　青木　茂久（医学・H10年卒）

佐賀医科大学一期生である戸田修二教授が主宰される病因病態科学講座・臨床病態病理学分野では、日々の病理診断と研究を車の両輪として実践しています。研究面では初代教授・杉原甫先生が我々に残された「独創的な研究心」を継承し、戸田先生の厳しく、寛容なご指導の下、大学院生が中心となって、脂肪細胞や物理的微小環境をターゲットとする様々な独創的な研究を行っています。さらに、当学卒業生で助教の力武美保子先生が積極的に行われている、病理診断と培養モデルを高度に融合させた甲状腺病態解析モデルも注目されています。研究とは新たな組み合わせでもあるため、異なる分野の研究施設との共同研究も積極的に行っております。病理学教室での研究としてはユニークな、ばんそうこう型人工皮膚や食道癌治療補助デバイスなどの医療機器の開発研究も、大学院卒業生の加来裕美先生（皮膚科）と芥川剛至先生（消化器内科）を中心として行われ、現在も継続中です。最近では、大学院生の永瀬圭先生（泌尿器科）と農学部・出村幹英先生との共同研究による「藻類」を利用した画期的な医療応用プロジェクトが進行中です。

近年、日本の科学技術力の低下が叫ばれていますが、当教室で実践されている「科学への好奇心」と「独創性」への寛容性こそ、豊かな研究へとつながり、時間と労力を要しても、やがては科学技術立国日本への復権につながるものと信じております。

同窓会NOW ―― 菱実会（理工学部同窓会）

平成30年度理工学部同窓会（菱実会）総会報告

佐賀大学理工学部同窓会　会報担当　田中　高行（電子・S61年卒）

平成30年９月１日、佐嘉神社記念館で菱実会第20回総会・講演会・懇親会が開催されました。今回は、開始前に佐賀大学見学ツアーを実施し、本庄キャンパスを見学しました。中でも、クリエイティブ・ラーニングセンターはテレビ局にも劣らないような設備が充実しており、参加者の満足度はたいへん高かったようです。

総会では定例の審議を行い、承認が得られました。その後、基調講演として佐賀大学海洋エネルギー研究センター副センター長池上康之先生（理工学部卒業生）による「佐賀大学が育んでくれた海洋温度差発電に学ぶ～『福の神』は『鬼の面』を付けてやってきた～」を拝聴しました。海洋温度差発電技術を不屈の努力で実用的なレベルまで高められ、久米島でプラントが稼働中で地域経済に貢献している状況（まさしく地方創生）にまでになっており、佐賀大学卒業生として誇りに思えるものでした。

その後懇親会を実施しました。今回は佐賀大学のよさこいチーム「嵐舞」によるYOSAKOIが披露され、ダイナミックな舞を皆様楽しまれました。学部長、副学部長、学科長、各学部同窓会の代表のご参加をいただくなど、皆様の多数のご参加をいただき、実りのある総会となりました。

同窓会NOW　農学部同窓会

これまでとこれからの有明海干潟の研究

生物環境科学科　浅海干潟環境学分野　准教授　**郡山　益実**（農学・Ｈ７年卒）

私は、平成３年に農学部生物生産科学科に入学し、卒業後同大学院に進学・修了しました。その後、鹿児島大学大学院連合農学研究科に進学・修了し、平成17年４月に助手として農学部に任用され、今年で14年目になります。

私の研究フィールドは、学生時代から変わらず有明海と干潟です。ポスドク～助手の時代は、有明海の環境問題が顕在化し、有明海異変への社会的関心事が高まったことから、学内に有明海総合研究プロジェクトが発足し、参加しました。当時、恩師の瀬口昌洋先生と研究室学生とで、早朝から有明海に船で出港し、有明海奥部の貧酸素水塊や底泥の窒素循環に関する調査・研究をしました。この時の色々な経験が、現在のフィールド調査や研究スタイルの原点となっています。ここ５年は、有明海における干潟の機能や役割について前々から関心があったため、海の研究から干潟の研究にシフトしました。干潟の研究フィールドは東よか干潟で、週１回程度のペースで干潟のマクロベントス群集や塩生植物群落の現地調査をしています。そのため、研究室の学生から「卒業したら当分干潟に行きたくない」と言われております（苦笑）。また最近は、東よか干潟のラムサール条約湿地登録を契機に、多くの方から声をかけていただき、地域と連携した干潟の保全調査や環境教育にも取り組んでいます。今後、更なる干潟研究の進展と同時に、東よか干潟を拠点にした環境教育のネットワークを広げ、子供たちが干潟を通じて地元の自然環境について学ぶ機会を増やしていければと思います。

第26回 佐賀青春寮歌祭 について ―残しておきたい 我が青春―

経済学部　**古賀　季夫**　（経済・Ｓ50年卒）

2018年11月24日㈯に開催された「第26回佐賀青春寮歌祭」に参加しました。

私は、今回で連続３回目になりますが、この行事は　旧制高校・大学の卒業生らが校歌・寮歌を披露するもので佐賀大学は20番目に出場し、旧制佐賀高校・佐賀大学・佐賀大学混声合唱団コーロ・カンフォーラの皆さまとジョイントしながら登壇し､「巻頭言」･ 寮歌「南に遠く」･ 佐賀大学旧歌「楠の葉の」を歌い上げました。

持ち時間８分であり、この中で大学紹介や寮歌等を歌うものですが、卒業生が心を一つにして、演技・歌唱する姿は副題に書きましたように「残しておきたい　我が青春」の一こまでもありました。

また、佐賀県で実施する「青春寮歌祭」は佐賀方式とも呼ばれており、旧制・新制の卒業生が一心同体となり、青春時代に思いをはせつつ力強く歌声を披露するものです。参加者は学校ごとに法被や学ラン、袴など懐かしい衣装で登壇し、佐賀大学も用意した法被・はちまきをしながら、ステージ上で肩を組んだり、腕を振ったりしながら高らかに歌いました。全国各地の大学や旧制高校の卒業生が佐賀市に集う寮歌祭として発展していくことを願いながら、年に１回の開催を楽しみにしています。

佐賀大学同窓会は学生の就職や大学祭などの支援活動を行っています！

平成30度「キャリアデザイン講座」

講義の様子

　佐賀大学の基本教養科目「キャリアデザイン講座」に佐賀大学同窓会は、同窓生の中から講師を推薦しています。講師の方から、現職に至るまでに大学時代からどのようなことを考え、どんな行動をしたのかについて学生に話してもらいます。

　学生からは、先輩の講話から自らの学生生活における行動計画やキャリアビジョンが明確になったとの意見が多く寄せられています。

1、「教員としてのキャリアデザイン」　H30年10月17日(水)
講師：石原　紳一郎氏（理工学部　平成11年卒）：みやき町立中原中学校　勤務
［将来設計のためのヒントを見つけよう//中学校教師の仕事の話を通して］

2、「芸術を活かしたキャリアデザイン」　H30年10月24日(水)
講師：米谷　典子氏（文化教育学部　平成27年卒）：株式会社　スチームシップ 勤務
［グラフィックデザイナーの仕事を通して］

3、「民間企業としてのキャリアデザイン」　H30年10月31日(水)
講師：岩田　将嗣氏（経済学部　平成19年卒）：株式会社　ワイビーエム 勤務
［転職というチャンスを生かして］

4、「保健師としてのキャリアデザイン」　H30年11月７日(水)
講師：川久保　愛氏（医学部・看護学科　平成19年卒）：佐賀大学医学部　看護学科　勤務
［現職に至るまで　私にとってのキャリア］

5、「民間企業としてのキャリアデザイン」　H30年11月14日(水)
講師：中島　和幸氏（理工学部　平成12年卒　大学院　平成14年修）：唐津プレシジョン　勤務
［大学での研究が 今の会社とつながる］

6、「民間企業としてのキャリアデザイン」　H30年11月21日(水)
講師：笹川　和朗氏（農学部：平成15年卒）：佐賀県農業協同組合 勤務
［JA職員として働くことのやりがい・大学時代の経験が生きる］

7、「教員としてのキャリアデザイン」　H30年11月28日(水)
講師：秋山 紗貴子氏（文化教育学部　平成21年卒）：神埼市立神埼小学校　勤務
［教員の仕事って　大学から現在までの私の歩み］

8、「公務員してのキャリアデザイン」　H30年12月５日(水)
講師：楠田　詞也氏（経済学部　平成23年卒）：佐賀県庁　統計分析課　勤務
［卒業から７年８ヵ月を過ごして］

9、「民間企業としてのキャリアデザイン」　H30年12月12日(水)
講師：長松　寛泰氏（理工学部　平成16年卒）：株式会社　宇部建設コンサルタント　勤務
［安心安全な暮らしを支える建設コンサルタント］

10、「公務員してのキャリアデザイン」　H30年12月19日(水)
講師：百武　千文氏（農学部　平成９年卒　大学院・平成11年修）：佐賀県東部農林事務所 農政課　勤務
［佐賀県庁を志望した理由とこれまでの業務内容等について］

佐賀大学の風景

佐賀大学同窓会館「菱の実会館」（同窓会事務局は「菱の実会館」内にあります。）

第21回　佐賀大学大学祭

平成30年10月20日㈯、21日㈰の２日間にわたり、佐賀大学本庄キャンパスにて、第21回佐賀大学大学祭を開催いたしました。当日は両日ともに晴天に恵まれ、無事にすべての日程を終えることができました。ご来場の皆様、ご参加くださった各サークル・団体の皆様、開催するにあたりご協力をいただいた地域住民の皆様、大学職員の皆様には心より感謝を申し上げます。

総合情報基盤センター前駐車場の野外特設ステージでは、「アイデンティティ」さん、「マシンガンズ」さんによるお笑いライブを開催いたしました。幅広い世代の方々にお楽しみいただけたのではないかと思います。これもまた、今大学祭の満足度を高めるイベントとなりました。野外特設ステージではお笑いライブの他にも様々な企画を行いました。歌合戦やビンゴ大会など、限りはございますがご来場の方全員が参加可能な企画から、大学祭に向けて練習を重ねてきた佐賀大学所属の音楽サークルによる本格的なバンド演奏、実行委員会が自ら考案したゲーム企画まで、バラエティ豊かな内容で賑わいました。

学生が主体となって、約半年間にわたり会議を重ねながら出店するメインストリートでの模擬店や、学内各所での展示発表など、ご来場の皆様には普段とは一風変わった佐賀大学をお楽しみいただけたのではないかと思います。学生にとっても、模擬店の運営や展示準備などの過程がひとつの経験として胸に残るものとなっていれば嬉しく思います。

最後になりましたが、第21回佐賀大学大学祭のテーマ『FUNtasy』（ファンタジー）は、本来ならば「想像、空想」「奇抜な思いつき」という意味の「Fantasy」が正しいつづりではありますが、「楽しさ、おもしろさ」という意味を持つ「Fun」とかけた表現になっております。ご来場の皆様、がばイベントやバザー店、ステージでの企画に参加してくださった皆様にとって楽しく、そして思い出に残る２日間を作り上げていきたいという想いを込めました。その想いが実現していればとても嬉しいです。

多くの方々のご協力を得て、第21回大学祭を開催することができました。改めてお礼申し上げます。来年度も実行委員会一同精進してまいりますので、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

第21回佐賀大学大学祭中央実行委員会　委員長　宮川　瑠夏

第１回医大祭を終えて

５月26、27日にかけての二日間、佐賀大学医学部学園祭「医大祭」を開催することができました。35回続いてきた「むつごろう祭」が中止になってから、５年ぶりに復活し、新しい形での学園祭として「医大祭」という名で、「学園祭として学生が楽しむのは勿論のこと、医学に興味・関心のない方々に積極的に医学的情報を発信していく、医学生にしかできない学園祭を作っていく」ことを大きな目的として一年間取り組んできました。

今回の学園祭では、総勢100名程度で学園祭運営委員会を結成し、何もノウハウが残っていない中、試行錯誤を繰り返し、少しずつ形にしていきました。今回お呼びしたゲストはアーティストの平井大さん、お笑い芸人の江頭２：50さん、寺田体育さん、はなわさんなど、佐賀県にゆかりのある方にも来ていただき、来場者4000人程度と学園祭を大いに盛り上げていただきました。また、ステージ企画や献血、講演会、キャンパス体験など様々な取り組みにチャレンジし、運営委員一同、苦しみながらなんとか学園祭を成功させることができたのではないかと思っています。

今回無事学園祭を成功することができたのも様々な方からのご支援があったからこそだと深く感謝しております。この度は、佐賀大学同窓会から多大な寄付を賜り、運営委員一同、心より御礼申し上げます。

第１回医大祭運営委員長　佐々木　亮太

ホームカミングデー

佐賀大学校友会主催のもと「第７回佐賀大学ホームカミングデー」が、平成30年11月17日㈯に佐賀大学本庄キャンパスで開催されました。

同窓会としても卒業生への参加の呼びかけや同窓会の役員等も参加するなど、校友会と連携を取りながらホームカミングデーを盛り上げました。

学内施設見学から始まり、担当者から佐賀大学の施設についていろいろと説明があり、参加者の中から、「何十年ぶりかに大学の中に入り、様変わりしている学内の様子に驚いた」との感想がありました。

レセプションでは、宮﨑学長からの大学の現状報告や大学の研究紹介、校友会学生活動支援事業による奨励金受給者による報告会がありました。佐賀大学同窓会川副操会長からは同窓会として大学への協力や同窓会の現状について報告がありました。

その後、参加者全員による記念撮影、美術館展示美術作品鑑賞があり、最後は和やかに懇親会が催されました。

次回も、同窓生の皆様の参加を待っています。

お知らせ　佐賀大学同窓会報「楠の葉」のホームページでの閲覧

たて糸（先輩・後輩）と
よこ糸（同期生）で、
織りなす佐大の人間模様

佐賀大学同窓会

佐賀大学同窓会報「楠の葉」（第29号）でお知らせをしていましたが、これまで同様年２回の「楠の葉」の発行は継続するものの、会員の皆様への郵送は７月発行の年１回となります。

そのため、今回の「会報第30号」から同窓会ホームページに掲載し、会員への送付は行いません。会員への送付は、隔号毎になります。

佐賀大学同窓会のホームページを開きますと、左記の言葉が目に入ります。ホームページでの閲覧をよろしくお願いします。

同窓会の動き（H30.7～H31.2）

10.11　佐賀大学同窓会「第３回代表役員会」「学習会」／菱の実会館
18　佐賀大学同窓会「秋期定例役員会」／菱の実会館
11.11　佐賀大学ホームカミングデー／佐賀大学本庄キャンパス
24　第26回佐賀県青春寮歌祭／エスプラッツホール
12.13　佐賀大学同窓会「第４回代表役員会」／菱の実会館

平成31年
1．1　佐賀大学同窓会会報「楠の葉」第30号発行（ホームページでの掲載）
24　佐賀大学同窓会「臨時代表役員会」／菱の実会館（予定）
2．2　県内地区会世話人会／菱の実会館（予定）
14　佐賀大学同窓会「第５回代表役員会」／菱の実会館（予定）

平成30年度　同窓会地区会及び支部会の開催

地区会（県内）
7.27　佐賀市役所支部会（職域）
9.29　神埼地区会
11.23　伊万里地区会

支部会（県外）
5.12　熊本支部会
6.30　沖縄支部会
10.13　筑後支部会
11.3　大分支部会
9　諫早支部会
11.9　長崎支部会
10　佐世保支部会
10　関西支部会
11　東京支部会
（予定）H31
1.19　鹿児島支部会（予定）

ご意見メール等募集
会報についてのご意見をお寄せいただく場合は、郵送のほか電話またはE-mailでも受け付けております。

名前・住所変更等ご連絡のお願い
名前・住所等が変更になられた場合は、必ず同窓会事務局へご連絡ください。
Tel：0952-23-1253　Fax：0952-25-5700
E-mail：dousoukai@sadai. jp